

開講科目名 / Course	第3段階看護技術演習（4年次生）	
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	前期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	4	
主担当教員 / Main Instructor	石丸 智子	
担当教員名 / Instructor	後藤 成人、石丸 智子、足立 綾、徳丸 由布子、内倉 佑介、荒木 章裕、森崎 久美、妻木 美香、堀 裕子	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	演習	
科目の目的と概要	本科目は「看護技術修得プログラム」のサードステップの位置づけである。これまでに学んだ看護援助に必要な知識と技術を、e-ラーニングを通して主体的かつ計画的に再学習することで、援助技術を総合的に強化する。	
到達目標	1. 看護技術習得確認シートの卒業時到達目標を目指して、看護援助技術に必要な知識をe-ラーニングを用いて確実に習得できる。 2. 卒業時到達目標の看護援助技術の中から課題技術を選択し、多様な事例への応用も含め技術を習得できる。	
DPとの対応	1.確かな看護の力・技術力、2.看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力	
授業計画	01. オリエンテーション 02-15. 個人学習 ・看護技術習得確認シート掲載の看護援助技術項目のうち、e-ラーニングシステム「Nursing Skills」で取り組める31課題の「テスト」に取り組む。 ・「テスト」は期限内に全て100点を取得するまで反復学習する。 ・課題レポートを作成する。	
その他の授業の工夫	・e-ラーニングシステムの活用により学習進捗状況を把握し、計画的な学習計画を立案できる。 ・e-ラーニングシステムにより、web環境さえ整っていればどこでも取り組める。 ・相談窓口を明確にしている。	
時間外学修	事後学修：各自が所有するテキストやe-ラーニングシステム「Nursing Skills」などを活用しながら、課題の復習を行う。必要に応じて演習室を使用し、課題の自己練習を行う。指導が必要な際は担当教員へ相談する（12h）	
評価方法と評価割合	「Nursing Skills」達成状況（60%） *e-ラーニングシステム「Nursing Skills」の31課題の「テスト」が期限内にすべてが100点で終了していること。 課題レポート（40%） *提出物の遅れは減点の対象とする。	
テキスト		
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他	オリエンテーションで資料を配付して詳細の説明を行う。	
教員の実務経験	有・無	有
	内容	石丸智子：病院の看護師 看護系教員12名：病院の看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	看護技術の原理や科学性についての理解を促進する働きかけが可能。	